

重野成齋 シヨウ 史學者、文學博士。文政十年十月六日薩摩國生れ、

明治四十二年十一月八日歿（一八七一—一九〇〇）。諱安齋、字子徳、通稱厚

之丞、重野澤。別號伊蘇志の崖、學聚齋、成齋居士、成齋老人、成齋

道人、曙戒軒、未齋、續古堂、藤原安齋、重埜澤、隼所、隼洲、靜娛

軒、鞭後宇、龍泉等。藩書造士館の學ぶ。嘉永元年百半坂學問所の入

り在學七年、舎長となる。維新後文部省出任、明治十九年臨時修史局

編修長、二十一年帝國大學文科大學教授。また元老院議員、貴族院議

員等歴任。嚴密な實證主義から兒島高德、楠木正成等の史話を斥け、

「抹殺博士」の異名を得た。『重野博士史學論文集』全二冊（薩藩史

研究會編、上巻・昭和十二年二月一日、中巻・五月一日、下巻・十四

年五月十五日雄山閣）刊。

著書『明治八大家文』全二冊（合著・松村操纂評批點、明治十四年五

月十日思誠堂）、『稿本國史眼』全七冊（歌林邦武全纂、上帙一四冊・

明治二十二年十月十五日、下帙一三冊・十一月二十一日帝國大學藏版

大成館發賣）、『日本史學新説』（合著・廣池千九郎監輯、明治二十

五年十一月十一日史學普及雜誌社）、『支那疆域沿革略説』（河田龍

共著、明治二十九年七月二十一日富山房）、『教勅諭衍義』（七版・

明治三十年九月二十日 田中喜右衛門  
明點  
植原 甚七刊、『雪泥爪浪』（河田柳莊合

著・河田龍齋、明治二十一年八月二十日新編・關谷文吉刊）、『名家

文話（第壹編）』（合著・内田鐵二郎編、明治二十二年五月十日鐵華

書院）、『大日本維新史』（明治二十二年十一月二十日 善隣堂  
靜思館、

異版一全二冊・ 善隣堂  
國光社、上海商務書館代印）、『 當世  
名家著書目録』（合

著・關如來編、明治二十二年十月七日文祿堂）、『右大臣吉備八傳纂

釋』 (明治二十五年)二月十日岡山・吉備公治保廟會事務所)、『解』

『聖蹟』 (共)大郎吉合著、明治二十五年五月五日廣文會書店)、口大久保利

通神道碑釋文』 (昭和十一年)六月、無刊記)等。